

第2回避難訓練（地震・けが人）実施計画

令和5年8月2日

1 目的 本校の震災時における生徒の安全確保と被害防止のために行う。

2 期日 令和5年9月6日（水曜日）

3 日程

(1) 朝の会

事前指導

「今日は、地震の対応訓練を行います。いつ起こるか分からないので、地震のアラームが鳴ったらそれぞれ対応してください。」

(2) 11:15～

3時間目の途中

地震発生放送（小林）※Jアラートは放送室の訓練用テストスイッチを使用
今回は、10分間の間に3回地震が来る設定で行きます。

1回目後（授業再開）2回目（授業再開）3回目（授業再開）
1-1（理科）1-2（体育）2-1（美術）3-1（音楽）

(3) 11:25～

教科担任が、それぞれの反省を行う

視点・・・姿勢は？揺れが収まった後は？けが人が出た後は？

(4) 11:26～

けが人発生（「けが人カード」が入った封筒を配っておく）

けが人対応

けが人がいない学級は、授業を続ける。

(5) 11:30～

感想発表（各クラスで3人が感想を発表）後終了。

4 詳細

- ・地震が起きたら、職員室でも地震対応。
- ・本震が起きてけが人が発生したら、職員室にいる先生たちで対応。けが人を担架で運ぶ必要があるのか、保健室にどのように連れて行くのか、それぞれの先生たちで判断して実行し、訓練終了後に職員室の反省会（校内研修のはじめの時間）をする。
- ・役割分担：観察、考察（防災主任）動画記録（田浦先生）

5 事前指導や地震間の対応

- ・揺れが起こったら各自で机の下に隠れ、頭を守る。（ポーズ指導）
- ・揺れが起こる前や、起こったら、「落ちてこない」「倒れない」「移動してこない」場所に素早く身を寄せて安全を確保することを伝える。
- ・地震は、余震から始まり本震があることを伝えて、また起こった時はどのようにするか
の指導を行う。
- ・余震が繰り返され、本震が来た想定で（本震は放送で伝える）訓練を行う。
- ・本震後、教員により「けが人対応訓練を行う」

6 放送内容（アクションカード0番を参考に）放送は、緊急時のボタンを押して流す。

- ① 「先ほど、大きな地震がありました。先生方は各教室で生徒の安全を確認してください。状況を確認次第、避難するかどうかは放送します。」
- ② 職員室で検討会（アクションカード0番）。その間各教室で安全面の確認。
- ③ 「避難の必要はありません。授業を続けてください。」

いつ	どこで	放送器具	けが人
授業中・休み時間・給食	教室・特別教室・その他	使える・使えない	重傷・軽傷・なし